かすぎ

追つて適當な機に(朝鮮年)

ロツパ印象記「三

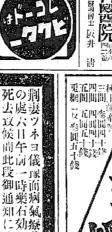
ど共に生れた豫算

廳も準備成る

大野政務總監釜山で語る













原素質 电話 智剛 禁煙灰船院長 醫學博士 佐藤小五郎 內 科

靴クリー 內科一般特二門吸過一心寒的歌

品級高最 ンエッチ

甲を丈夫にする

組番陣二第月正常の東京中文・文章 1 京京日上の東京中文・文章 1 京京日上の東京中 2 京京日上の東京中 2 京京日上の東京中 2 京京日上の 2 京京日 2 京市日 2 京京日 2 宗宗日 2 宗宗日

四八〇七〇〇

有名面污服社

かをい

東城府明治町 1

開発主要需要等等 動調整に対して の處六日午前一時藥石効なく の處六日午前一時藥石効なく 削襲ツネコ儀塚而病氣療養甲

神善文編曲

御會菲御禮 旱河 野 俊 夫 大男 泛州 川 手 道吉若

古年通歌

文子•中村 液子

十六日まて 於三階エレベーター横受付 除 定 丁十六日まて 於三階エレベーター横受付 除 定 丁

御會菲御禮 朝鮮石炭織 合會

一番(構內二九番六三番)へ重年後五時年一番(構內二九番六三番)へ重年後五時年 規定业に申込書御進呈申し上げます。

かすぎ

追つて適當な機に(朝鮮年)

ロツパ印象記「三

ど共に生れた豫算

廳も準備成る

大野政務總監釜山で語る













原素質 电話 智剛 禁煙灰船院長 醫學博士 佐藤小五郎 內 科

靴クリー 內科一般特二門吸過一心寒的歌

品級高最 ンエッチ

甲を丈夫にする

組番陣二第月正常の東京中文・文章 1 京京日上の東京中文・文章 1 京京日上の東京中 2 京京日上の東京中 2 京京日上の東京中 2 京京日上の 2 京京日 2 京市日 2 京京日 2 宗宗日 2 宗宗日

四八〇七〇〇

有名面污服社

かをい

東城府明治町 1

開発主要需要等等 動調整に対して の處六日午前一時藥石効なく の處六日午前一時藥石効なく 削襲ツネコ儀塚而病氣療養甲

神善文編曲

御會菲御禮 旱河 野 俊 夫 大男 泛州 川 手 道吉若

古年通歌

文子•中村 液子

十六日まて 於三階エレベーター横受付 除 定 丁十六日まて 於三階エレベーター横受付 除 定 丁

御會菲御禮 朝鮮石炭織 合會

一番(構內二九番六三番)へ重年後五時年一番(構內二九番六三番)へ重年後五時年 規定业に申込書御進呈申し上げます。

油の積極的増配要望

日銀紀代 (四 日) 日銀紀代 (四 日) 日銀 (1) - 4,4,2,10,1-4,2,2 (2) - 10 - 1,4,2,2,10,1-4,2,2 (2) - 10 - 1,4,2,2,1,2 (3) - 4,2,2,1,2 (4) - 4,2,2,1,2 (4) - 4,2,2,1,2 (4) - 4,2,2,1,2 (4) - 4,2,2,1,2 (4) - 4,2,2 (4) - 4,2,2 (4) - 4,2,2 (4) - 4,2,2 (4) - 4,2,2 (4) - 4,2 (4) A COMPANY CONTROL OF THE PARTY ●提目本、北海道、開大行 ●上川代理语 日鲜海運体式育此 ●上川代理语 日鲜海運体式育此 超多级式

東 [表] 上百分一米 以第三章 (大 日)

群島吸尻 (四 日)

、松男豊全時代交流1967年の1968年の1968年の1968年の1968年

一田原秋三郎商店

机上の荒驚

帳

(A) 場合浜船原出机

仁川港出帆 (仁川港出帆 (本名) 1 出有司法 (安全) 1 出有 (安全) 1 出有

明鲜汽油山帆廣告 一、龍山帆 西水行(旅行) 新年中原中 西水行(旅行) 新年中原中 西水行(旅行) 新年中市北原 市村大(旅行) 新年中市北原 市村大(旅行) 新年中市北原 市村大(旅行) 新年中市北原 市村大(新行) 新年中市北原 市村大(新行) 新年中市北原 市村大(新行) 新年中市北原 市村城行 世日平市北原 市村城行 世日平市北原 市市市城 世日平市北原 市市市市城 世日平市北原 市市市市城 田田市市

同れも最高値で出来した | 歴先順四十二回十五段 | 四先順四十二回十五段

目丁二町治明府城京

短期部

3 校(日) 自己

\$100

四萬百金本章 } 現物

MARCO WY (ピクル)
MARC

店物現式株和三

▲ 源山水源作商店 「山水源作商店 野の新輩上写 毎り飲 目丁二町治明府城市

京(成) 1公元 報准百0 1公元 報准百0 1公 報刊百百百公

道文明中

• 炎(現) 115至中内期炎 1140 1500 映東小麥亞150 152

商记实

ŒĦ

店商助之友#白

南寧の敵陣は大動搖

『を根據として暴度をきなめつゝちり』『『月』と『『『『『』、『』、『』、『』、『との安を認めず鳥東地間に亘る猛爆の結果最芝鎮方面に集結せる魯東地帯の敵を滅潰してその安を認めず鳥東地間に亘る猛爆の結果最近

を根據として暴虐をきはめつゝありし匪関も空陸呼應の立體作戰により完膚なきまでに

商閥庄の敵司令部に連續必中彈を浴せこれを木端微塵に粉碎せり この雰囲とり聴の概念は 〇〇時は時を移て予想を強、向水県、李忠、爾陽田、高齢線、劉邦、三階線、張竜蘭子、政策順」を結構し、日戦の間を築ら、せ、統予、臨職、間号方館の後職を推薦する事態的際は足に引躍し、日は忠と戦方館に関力なる聖赦の果認りたるを接足し、司は忠陸臨制政部

同に敵学なり

青島航空部隊縦横の大活躍

常所に密集せる脂漿に異くたる結構性溶泥に関するものもり、胸水型においては原の膀胱網大を認めたる主形方になんらの指語な

が存せられ、いまや大集職の距岐は認められざる状態に至りたるもこれが能感的情報を期亡期報言、他日言政中なり

殿下御歸還

久邇宮朝融王

敵反撃脆くも潰ゆ

漁業條約の効

延長識定書

八三七、七八六 があるのでを分東京で三者事物常二八七、〇八五 脚は引躍き関係対用に抵抗の條地

| | 内閣都部職により國王の命を| | マラツセル五日||| | 国 | ベルン

開会度司令部に世際、常開会

氏の運動の經緯と國共關係の今後とを設した解釈許である世本報查會員太田宇之助氏執筆になり、國民茂を主頭に

之を基礎に中央新政府的立に動態中でる活光館氏が、和平教域を叫んで戦器

育〇五一判六四

錢十三酯

が、五日元英属学出数介総備チ

濠空軍を充備

平國國民黨と

震動編 朝日東亞リポート・第七輯

ー的相は近日新口間を銀幣した、

ること」なったが有風時間

図是を決定新なる段階のに事變收拾に一段階を加まべき新収権問題に通

阿郎首相から説明諒解を求めこと 任野五葉前と政府との資源を行ひ 説解を求め、閉語決定の上連かに

臨時閣議

延安主義を基常して東亞水道の和

九日端々しく結脳式を挙げ、誕生

通航では右に関し左の低く識ってションを興へつつあるが、政監測 中保として各方底に一大センセー

とミコヤン外が野婦人良委員とのブルガリヤ經濟使能ポジロフ配相 ガリヤ南河の通回空湖は四日夜の【モスコー五日回間】り職、ブル

本質調整液は低器、用の離社は開催以来最大の皮質的。 日本報的なを減投 リシャ降相応にマックミラン解説 日の第七は開催以来最大の皮質的

クミラン個物相も離職して後氏にンガン氏が起用せられ、更にマツ 貿易相にはアンドレー・リー・ダ

殿原に態度したので実関蘇最高の戦場に悪性したので実関蘇最高の変化がある。

4美入阳四•亚六—四种大四 用四份河流区•田长岩的村木 錢十五圓— 假定

(鐵五十新級)

れることになった

ヤ間通商協定 聯ブルガリ

山隆一書下し漫畫物語

を描く樂しい物語 水上生活者の子供

が船長が

高級抵性用菜產本 高級抵性用菜產本 **九十錢**

ボーター(原名・リンパロストの少ち)(高井貞二般祖)ジェーン 女鬼事 (原名・リンパロストの少ち) (高井貞二般祖) ・ べて右と向じジェーン

續以 刊下

スタンレー院別相が専門に心証し、少世には 順に個報相の更迭を確認、

行政部長更迭維新政府司法

外相スパーク(社の版習任

おる。とは、今の日本の親達が持つ共通的な惱みいことは、今の日本の親達が持つ共通的な臘物の乏いことは、今の日本の親達が持つ共通的な腦を比べ多校から中等學校へ―――――――――――――――――――――――

主 と要素し、同十一時半分散さした をおれたい。 和たい。 国民生活の安定に全力を辿中さ れたい。 和たい。 日本にの安定に全力を辿中さ れたい。 の大きが、同十一時半分散さした

週城周邊の全軍潰走

會計の通常臨時世事盟の領人派は職に附藤正式決定された、各特別 臨道、部信特別的計量がは過股米

北鐵最終割賦金

軍備兩歲張案

共和黨から反對の聲

4年四新田

五十和昭

で愈々發賣になりました。 共總三百五十百の充實振り 例年より約百百增大、便覧

昭和十五年全國潮時表

全國釣髪好者間に定評ある

無関の増、

久芸能蔵行母職は
 の三郎一千七百萬関に比し四千 なつてゐる。明年度各特別會計

朝鮮総督府

大使に手交されこして北部議場に下に望来順張響場からスメタニン

の物量支離及びその他の時配照例」に現和整確員方配から収置の整が、時間に関から一たに置しては早くも議會方面、特別の エルト大統領が今天議省に終った。 賢しても時期的早との既が為く、 タ下配額長に對してなしたことに「ワシントン五日同盟」ルーズヴー即つてをり、また歌節が最別後に「服を大歌館に付集すべき間の豊富の

男を直聴政府の衝弾下におく諸徹」とや思されてある。 限を擴大、平時においても心様式「許良から蟷螂辺對 限を擴大、平時においても心様式「許良から蟷螂辺對

一部員から盟襲反對がなされるもの

常情便利な 金 (法数)

對しては調的で民主、共和國語各

0

投じ、またソヴェット歌報とフ の三大國を跳泳なる顕新の脳中に おける大概の就能は、第一大

て抗阪力の持久を益々困難なら品の主要神給昭を有效に週晒し 交通の福要地域より揺器し低器

果なアジア大陸において設行し

並の前途を祝福する

生々しき戦場の質相生々しき戦場の質相

源於期 唯一國二十錢(共)鄉

四大和、三人〇頁 (近年上1代) 書下し長篇大陸文學

浜越鐵路

- 表二時父々同郷道第を聴ひ、昆 とに中敬き、我が神行無际は五日 に前道によれば四日の『郷郷路宗

行 图 据主

治則に對し大概學を加へた二時久々回総道語を興ひ、二 的京誉備隊

年の戦果

中共毛澤東ら突付く

要求四ケ條

院では長井町、満

形正衡世景の中央市第十九師及一 の敵軍再鑫動電關周邊地區

百廿九師の 三百を讃悼して これ西北方十書の歐土版に來現せる用 番品小統二、統領一、手幣戦十一、南百を攻撃して際遭罪死懼十四、南 立の危险の依することを緊苦して

機能を除げてある。他も三日銀版「信する第自止九神の五百か来がし」ク・エテインスう名色射五に楽しの歌のか園を原用に開催しる大の「薄塊東方八・6の薄痕波に神空団を「動車で工跡域に出版の豪犬、ヘージが西田部域の歌歌に深巻りもな「更に河部域の別の一部は五日日間 ス氏(寛人)は六日宇旬九時間日 投が西田部域の歌歌に深巻りもな「更に河部域の別の一部は五日日間 ス氏(寛人)は六日宇旬九時間日 東向神殿下亭屋 別徴にピストルで建築されたが弾 かくつた際、安那服を著た敷着の たがくった際、安那服を著た敷着の た

長狙撃さる

司令部引揚げ英北支駐屯軍 手に感抑され、取調べを受けて

初日新聞社新刊

東京・大阪電路東京・一大阪電路東京・一大阪

ヤプテンマーヤット作 清水暉吉澤

Zia

富

型 原明 財な少年少女 讀物

今年の遺跡配は無に、時が時だけに自々な意味で配自かつた、財子に自々な意味で配自かつた、財子では関邦の最中だしソ戦には新

で大畑が四、五十台、特に観察り 注目を高いた

街では大阪協則の殴場を中心に

赤属の下に統合いた

謎の

一謎のソ聯の姿はこれだ臣

員派特森

青年問題に就

建設事業の主動力たらしめ

社

質等人の問題で担意苦極に過ぐる一年間が単語、物資 紀二千大百甲は周知の近くちた一甲であったのに對し 半島に在つては、今年 の印版が金上本格化さ 確にせればなられのである。

監を最上記化して以つ 年こそが明日の社會を背付っ 俗に刊年のなかに在つて、円

勿論半島に於ても青年職そともなるのである。

一部回動の根地上個大な成果。 一部回動の根地上個大な成果。 一部回動の根地上個大なのは、内部 大なのは、内部 大なのは、内部 いふまでもなく特年層の出

當原

研

通過

腦張甲鎮商店

類材製質工場 阿東呂内

金山二五一番

金山府佐川

聲

Ŧi.

叫

がおよるに常っては先づ特に 一千大百年の建設出業 正しき指導者を伴は真相談

は鹿村振興運動における資年の活動力、吸 たとへは傾民精神器助員型

な機能である許りでなく大原 骨筋に、而して酸更酸に非常 れていのであるが、これに此 来ないのであるが、これに此

とが出来るであらう

に位大な力や効果を開発する

職料壬鐵商店

7個個別用級

Ú

人

微回層製宗町

慶南自動車。會社

知能公認後

天命堂書

櫻

肛

族

崇光山銀行集會所

職以一同

撰籍签山一五三三七一

池照

伊七

黎山東土原町

釜山原鹽販賣組

合

苑

江 福町1四の

原留田

泰

釜山

料理屋組合

釜山券番

削三百

釜山築港株式會社

社 長 担 田

佐

に介入鼠の継順にある。スターリモロトフは、ウオロシロフと共

高麗斯

1

釜山

日初日

臘

11 大田殿所

佐

思

從 山 支 職 佐 藤 商

店會

[1]

放

送

周

网络路山市岛町二丁日

益米 (四斗以) 1六 金山現物取引

證山鮮生仲

合

H

[[i]

田漁菜組合

アサヒゴ

4 式排

P

社

強山府大橋通り

和

田

商

店

館南朝鮮貿易的 **徽山府火曜町一丁山**

1

寶生護謨工

一業所

天一ゴ

ム釜山缸

統山。元大四旬東指ビル

關産

業組合協質

三和護謨株式會社

出商工物館所館 靐

口口質

金

栜

朝

全班**小宫黑鉛礦業**所

11

東信

大鮮酸造灣會社

無盡對會社

朝鮮自動車與紫山 総山麻紫山一丁町十四番地

支配へ領川

太智

平

翳鄭仁五商會

李紫

開山

東明印刷

支后 举大统西岛中央街

佥

浣

木昌 かり喫茶店 と明報

釜山刑務

員

貴 逍 男 興 沙上ゴ

釜山交通株式會社 ム工業所

山岩町 (四井路町)

之 助店

教鮮米製市場株式會社報鮮米製市場株式會社

會合 社名 金 在 商

洙

城津 山

Н

張

員

T

ボ

新津 會 五本 館

卸食 城 商品 .

北京

金

本本店

本

コークス 城津一石炭各種 城津邑本町四番地

三國商會 電話長三二〇番

藍

澤

71

本

『藏

城津製材株式會社 馬多米

城

津

本

Ħſ

城

請津

詰局

Ш

洋

服

域店

所

負

贈烹取 電話四五〇番 速

城津營林署指定賣捌人

店

城津電柱株式會社 電話長三二三番

送株式

會社

店

上場

組所 H

本工業合資會社 太郎

> I. 場長 津

問問波重二業株 I 曾祉.

橋 省 \equiv I

場

高

梅澤 澤縣 景景 雄基土木管區 金量 鄭

角田常太郎 有田工務所 亨 元 幸 鳳 商。 樂 宇 店

建基胱在员 笹山 宽

育株 社式

][]

洋

行

小泉科中的城津邑地町

院長

。醫

···院

雄基驛々員會

津 奪 烹 旭 木 魚町 a 話二二五

五新

雄基出張所

所

雄基穀物商品

城津

自動車灣會社

湿

ůή

城

津:

森那左衛門 出 張 所

小池太郎

整共**益**北雄基於

雄基產業給會社

取代 締 役表

缜

Ш

久

彦

金

崗

非酸

常院

竹座敷と 話二 Ξ. ٨

カフエー

力

H.

水水

城。

明

朝鮮料理

在館

][[

野

崎 恭

城

津

米

氽

第世典

一 商事

· 林大會仙

電話一四二番 城 准 邑 本 町

11 崔

北

)||

帧

非策

完

津 Lyp 四型音

城 /P 鐵

道金曜 曾

城津郡等小學校長會

營 栤 齊署*

贩

同

原

城

津:

城 職津 員郵 便 局

城 東東山 水 茂 東北 川 東 東北 川 東 東北 川 東 東北 川 東 本章合

凱旋待つ

萩野潔子さん

東部選及い大事業

異ながみをたどりつらありま

けましても、私共は劉國政政

大級闘せずにはるられません

お助であると深く感謝皮して

して勢力し、朝鮮の方に信じて」?

「お年期にこの食物と思い合わた」「粉色のものには大椒菜、醤油、「お年期にこの食物と思い合わた」「ケンヤ、小魚梨、ホウレンガ、?」 長 壽と榮養

食、はなるだけ複雑

職我は絶對にいけないのです。食

問答

子】

アイロンかけ方~

を食べない」といる様なことを耳 べてゐて、ほかのお葉ではごはん れが長脚の物語であります。

せん。若年期になると病気に置れ

を食べることは、色々な理問か かに含まれてゐるのではなく。

た一もと西は娘が出てはなくて、噴灯」からともしばく、叫きます。もともしばく、叫きます。もと でもならかりますが、高を合む人

 \equiv^*

rļa ^{iil}

井

木浦 古

支

光票

理

麗

水

漁

組

合

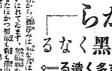
報

被

孩

習

市髮



音から、確かみはいななはない

によいとてドンノく出る。折うし 獨特の紙パナマ 馬鹿にならぬへちま は元づころに宿を組せればなるまい。 は、パナマ帽

水電

職產 買試

一驗

同場

原田田田

昇

麗水鮮魚仲買組合

(鮮銀二階)

料麗

販郡

組造

合原

祖母日動中

鄭

弘、

省朴

此群

報思全点

酒

なつてなは一冊照明との

しまして、関民会職が一

長の方々の餌勢苦をお祭れて戦級にお正月を贈へる の古へを偲び、また改國を確 展記い新年を30へるに含りま

紙で造つた模造パナマ帽とて馬原 木浦 工場 工場

は、は出来ない、少い年で四百四十年 英国、おい年は八百六十萬国にも上らかせぎ高である。 輸出先は対 出力が未満だが、パナマ 期の 本別だる中米一様にまで遊出しば ボウロー 世界を担手といってもよい、日本 ばの回い様ほりを造り添料をつけてストロー駅のものとしこれを朝

選長気をお貼り申し、 歌問数

世界の釣狂へ

于に帰むのだが近年は製法も色

南一運輸辦會社

食糧配給統制組合全羅 南 道 臨 時

西延 曹

職員日 世 組

同獎

麗水汽船株式會社

恩警防

團

趙

天

九

用

專賣局報恩販費所 報恩煙草小賣人會

元陽

絡 措院

院長 華『 金眼 訓 科醫院 育 14 聯

12

內務課長 郡 長珍尹 敎 ŤĨ -1: 協

官

豆 台 赫 廳

命金李梁尹李崔金全朴 一鳳昌鍾箕英相用熙秉 同植焕浩錫求國根仲杓熙 は何か笑へぬものがあるないといふはやりかたであないといふはやりかたであった。 にカロリーとしては含水炭紫、 歌を付してゐることは事實です。 疾病として相當のカロリー を付してゐることは事實です。 痰

松尾亞

武之助

華成

華釀

西遊

加場

右斗里酒造3

,場

湖南製炭蜡會社

安島

金酒

四进

中場

の母さに切り、単に鬼殴と死五に切ります、母裁も一寸五分くら

教は一口にいたいける大ささ 兎肉の串焼

にさします、これにメリケン粉を

たのが プンプス・ア・デ

ロンドンに最 近流行り出し

a 証明的になると抽扱いものを、表して、幼年的には関や脈や魚を貼み 年賦時代に従って呼ばは魅りま 既は元分利理解を完みたいのです 肪が九カロリーですから、アルコ 日当は共に一ちについて四カロリ ・、アルコールが七カロリー、肌 8り、その吸收の早い事からいへ-ルには脂肪につぐ得利なもので

未调 天和町二丁百四番地共 同 販 賣 組 合本 浦 亘 産物

阿村西村

松

之

助

原设金小原水部安局到但所

辰

旭

麗水 愛菜

蓉

生活の矛盾ご自覺

體は婦人の手で

፻

頭の内脏一膝は、「内脏共に一か近いのでございます

でも早ければお互に幸福な生活

問題な意気に押へ

って世界のほに役立つものでなく

年期になるとさつばりした野菜類

り、永久に後感しないものであったなつたるがほんだうに見びで

思ひます、私共は十二月にそのモニーと呼ぶことをやめたいと呼ぶことをやめたいと

記離別祭を必要以上に重んじる かめを重べて懸かさを誇っ予約 更所の不譲

でについては戦に戦場していらつし 解説の自然した婦人の方々はこ

献立のない食生活
であれることでは、

地が人との形みよりによつて、はやいます、これ等の方と、よい内

具権的方面の異現と関かい心の交易を修じて私共婦人の手で出来る

べないといふ見渡は飛分に緊飛すけを食べて、あとのものは一切食 たと明好の加くまと好きなものだ 摄取する標に聞いてゐるのです。

陸下の大街心に聞ひ率るとであ

私共はこの生活政党の役に出来しています

仦

麘

關

太

郎

造職員

田

孝

禧

金宝

道

祥

所及 言同

職品員在

同文

木浦三國商會

まり酒一合は何酸二種依にあたりロリーといふことになります。つ ますが、西に関心された場合カロ

神碑を手載六千五百萬石とみて、 その他日底、厳酷ですが、遊戲。 中の原料米は観三百七十萬石、米の の原料米は観三百七十萬石、米の 初六分がこれまで酒に残ってるか

高原素

泰

造

道會議員

趙

F

計画 四百二十萬台(原料米) ・ 一年の西離底はどの化かといひ ・ 一年の西離底はどの化かといひ

五十四萬石(原科米、甘

十萬台(原料獨木、米雅)

IE.

確

掌

專眼 門科 水

又画

年百六千二元紀贺奉而謹

水浦

海事出張所

道會議員

李

叉

職

員

īi

油村竹顏公設市場正門前

刊好

促出九二十五 形 水 副

木油竹扇

太陽俱樂部

麗

水

金

曜

 \pm

金文盛

木浦 支 店

福興 富永 英 商

川 自 調 A

南

道 同 運輸部 運輸部 支胎長 祉

式台社随水支店

TF 企 英

那俗雕画長 郡馬老面長

火屋

2 本田 線 棉 工 協 # 田 線 棉 工 協 統富爾 **他** 土[®]

港仁川の特質發揮に勇往邁進 仁川商議會頭 深 大である、故に正郷主業の何れか

と生の意気に燃え、相風の道に

十四年度の貿易を顧みて

早害も轉嗣爲福

銃後の活動

京畿道知事

会前」所配大学送行は国民の一個力し思感送者をきびしく解釈し

履物界を風靡する下駄

興亞の初日の出 忠北線川から

早手廻しに材料ボプラ増植案

自願貸出しをしてゐる所以である

といよ行類である。これがため様、にあるので今からボブラの脈観をであつたものが今では六英星影響。 てはこのボブラも心足を来す観喩であつたものが今では六英星影響。 てはこのボブラも心足を来す観喩であつたものが今では六英星影響。 にはこのボブラも心足を来す観喩を関節したためだ川の下駄 用ひることに成功したが、今の盟閉告がを属してフラを材料に

一大府是《着々實現

仁川府尹

泳井

金佩出張 所

鐵道工事場

組

水 期 鮮 放 送 協

物 碳產油 株 株 式 育 育

辰 辰

巴巴

社 社

二川稅關長 武田鐐太郎

斯斯

凑

度 明 母 医及山面撒 員一同

温度梅月

储计

小畑惠三郎

茂山鑛山出張所

英容部 田

越京城支店

温江

番

更明 直 診 方

木下元一郎 吉田屋旅

舘

職 員 一 同 茂山遞反會一同 谷

娶貞基製材所

代四郎

Ш

O

會社 中 合資 中 一人五番地

電話光化門 左 六番 **組**

雷

話八

雅 城府黄金町一丁目

地門有一八八一番

農村疲弊の因 多すぎる飲食店 茂山郡を豊倉職員一同|茂山郡 駿 職員 一同|

【語以前】樹州山長興館は順か七

魔話三六番 軒

京城出張所組

城府巡江通十一番地

城府三坂通二四四番地 日滿土木株式會社

朝鮮無煙炭離

森本組京城支店

電話龍山一九五 一番

曾文炭礦株式會社

城府黄金町二ノ一九五

男女事務員採用中野女事務員採用中野皮を築を持て自己を選挙を開かる。

邦文タイピスト照

曾

日產化學工業會就 原與日本人與結 所 一





謹而奉賀紀元二千六百年之

皇軍之武運長久



のまでする。 日本主命規 皮膚浸尿 **性病科** 医学卿士 意遊 音 である94

電話本局(2)二五二二三番 上五八五番 花柳赤外科芸術

京城支店田銀行 中国 Rankを の Ranke Ra 京日案内

育株 肚式



東下さ、中 解別 東京 中 解別 東京 京城司大門上 氏 オ

朝鮮書籍株式會社

。一體





















特別案內

・ 食堂女店 日 みまり (東京三中州初) 東京三中州初 (東京三年) (東京王) (東京王)

女事務員。是品

腎臓病が

四栗の効果が期はれて假日はな

男も女も心得べき「結婚」ご

醴儀作法と

なり、五年間の永い苦しみは

療法で

たりして、動砲をつくつた所から一小便と共に取り去つて開

排棄素薬が自宅療法のお原因があるから起るの

此の合理的硬方形療法の公開を設

関係に経得するために、版内

情気の両方旅街案館法がよく切き

今日の如く有名になりましたのは

殿心得から人前に立つた時心

三世目。従来の果の三倍以上に

八群と演説

征・入營・凱旋等戰時下の

自然界藥物で化學的藥劑での

治療上の優劣

別は斯くして治せ

◇迷ふを止めよ肺患諸氏◇

死刑 まが地域上のどこにも耐視されて かくして

「肺患を治せ か、時間はせないか、関は領土のではないのの時間を取りてあるのではないののは、

り制理に貼いた部でを登録法にて病機と即びついあるか、大自能阻消氏よ。あなたは合いかに 間はこの自然に恐れば治る。 卒紙讀者に− 急ザニ 肺患者よ

中風は百病の長 風

大型銀狐児と巨大新白色軍用児の飼育

女の命は黑髪 髪の命は白椿



立身出世が早

植原文學士發表

土に出土規則の手紙を始めとして



入邸る美本定領二関の第一千名限一だけでも一開以上の價値あり るばに理想的の手紙辞典である。一般別は品として右手紙辞典的 同時は四六年クロース金女宇箱













……フス物織毛糸毛 /に濯洗おの……

発服所み曾品 ・ 元高 ・ 元高 ・ 元高

第一工 翼 製 善株 宝 園 社をプマルセール石絵本組

總正新洗劑

度 安谷生春堂大藥房 是 医大豆子公园的 是 医大豆子公园的

健康の原則は 繋ぐこの銘薬銃前統後を 主治・肺・ろくまく・胃腸 胃腸の剛健にあり

が孫を膝に興亜の決意を語る尹政昊翁

止月お餅は鮮米

北支建設も快速調

興亞晴れ新春の北京風景

人にとつては

||一大|| を切つしむつと

青年の父。尹致昊さん

指金の封切り

信禰々『やるで』

あれやこれやと胸算用



名譽の戦死

第 土 木 铁 式 ① 社

三岐切甲科入中以稱明和統一(京城府改金町六丁目(同州庁間)自動和支票パントスル番ハ仙ノ南佐ヲ許サヌ本校(米レ管でお客手の著書を書

Č,

カゼノカミ

コスイの記 グリコガ

樹品市 賞問 4 大章

灣南京城第一自動車學校

例立大正八年會所解析一ノ正式學校會各批試験幣價會最大完價實圧數表會及開發支配人與子女學正數與會形像完全會及開發支配人與子女

乘組員救助

大阪・輝 光降立向会

見科

電話(光)1960世

^{醫學博士}德 永



登山で縊死

現在記述という。 は、トロンは、一般はの内地人のが現代してあるのは、トロンは、一般はの内地人のが現代、北等日間に開出 となった主人。 を加行人が発見、北等日間に開出 となった主人。 たので被認の総場がは、北等日間に開出

消費一日一支 保證一套设

受験生薬九川線備校

33

德永小

西山門町小人裁判所衰通)

が開表の対象を

D 4

四の宝

古城 小 小 兒 科 科

四級や可流級を恐れる人に… 門場をこわし、中側をする人 門場をこわし、中側をする人 でルーや高血蟹の心配ある人 に、1日降をする人

V CONTRACTOR

二日間の各舘上景氣

を方が

まづ八道へ第一回分を送附

迷ひ子。授業料』

七十日振りに現はる 田來るでせう

院病人

旅武藤工 ルトクド間の 治泰 本松 土地の医長院 地間大町倉木北府は京 **主丸八三本二八四本電

各地の吸収にあり七〇頭・一円五〇

なく各方面関係者や全世紀

さつそく

ねつの出た時…… お役に立ちます

